



2024年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年11月14日

上場会社名 株式会社アエリア 上場取引所 東
 コード番号 3758 URL <https://www.aeria.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 祐介
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長 (氏名) 上野 哲郎 (TEL) 03 (3587) 9574
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年12月期第3四半期の連結業績(2024年1月1日~2024年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第3四半期	14,879	△10.8	△300	—	△296	—	△363	—
2023年12月期第3四半期	16,671	10.6	254	△45.1	555	27.4	410	61.1

(注) 包括利益 2024年12月期第3四半期 △343百万円(—%) 2023年12月期第3四半期 454百万円(79.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期第3四半期	△16.38	—
2023年12月期第3四半期	18.48	—

(参考) EBITDA (営業利益+減価償却費+のれん償却額)

2024年12月期第3四半期 △83百万円(—%) 2023年12月期第3四半期 475百万円(△35.1%)

のれん償却前四半期純利益(親会社株主に帰属する四半期純利益+のれん償却額)

2024年12月期第3四半期 △266百万円(—%) 2023年12月期第3四半期 508百万円(14.3%)

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期第3四半期	19,673	9,072	45.2
2023年12月期	21,145	9,682	44.9

(参考) 自己資本 2024年12月期第3四半期 8,885百万円 2023年12月期 9,497百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	—	0.00	—	5.00	5.00
2024年12月期	—	0.00	—	—	—
2024年12月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2024年12月期の連結業績予想(2024年1月1日~2024年12月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,500	△9.6	△200	—	△250	—	△360	—	△16.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名) — 、除外 一社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年12月期3Q	23,649,428株	2023年12月期	23,649,428株
② 期末自己株式数	2024年12月期3Q	1,975,274株	2023年12月期	1,376,274株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年12月期3Q	22,212,092株	2023年12月期3Q	22,215,522株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2024年1月1日~2024年9月30日)におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待されております。ただし、欧米における高い金利水準の継続や中国における不動産市場の停滞の継続に伴う影響など、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっております。また、物価上昇、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要があります。

当社グループが展開しているインターネット関連事業においては、スマートフォン・タブレット端末の普及に伴い、インターネット利用者数の増加やEC(電子商取引)市場の拡大等を背景として、引き続き成長を続けております。さらに、コンテンツサービスの多様化が市場規模を拡大しており、スマートフォン・タブレット等のモバイルコンテンツ市場においても継続的な成長を続けております。一方で、魅力的なコンテンツやアプリケーションを提供するため、サービス内容は複雑化・高度化する傾向にあるなど、開発費用や人件費等のコストが増加するだけでなく、企業間におけるユーザー獲得競争が一層激化しております。また、アセットマネジメント事業においては、投資用不動産の価格水準が高く推移し利回りも低くなっており、適正な投資案件が不足している状況が続いております。

このような状況の下、当社グループは、コア事業と位置付けるITサービス事業について安定した収益基盤を強化し、コンテンツ事業においても、スマートフォン・タブレット等のモバイルコンテンツの開発事業及び配信・運営事業を強化するとともに、子会社各社の強みを生かし、これまでのマス・マーケットからターゲット層を絞ったニッチ・マーケットでの基盤を作り、深耕を進めてまいりました。また、アセットマネジメント事業においては、規模が小さく、事業期間の短い収益不動産を中心として展開することにより、事業リスクをコントロールし、金融機関の融資姿勢等に鑑み慎重に事業を運営してまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績につきましては、売上高14,879百万円(前年同期比10.8%減少)、営業損失300百万円(前年同期は営業利益254百万円)、経常損失296百万円(前年同期は経常利益555百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失363百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益410百万円)となりました。

また、EBITDA(営業利益+減価償却費+のれん償却額)は△83百万円(前年同期は475百万円)、のれん償却前四半期純利益(親会社株主に帰属する四半期純利益+のれん償却額)は△266百万円(前年同期はのれん償却前四半期純利益508百万円)となりました。

なお、当社グループでは、M&Aを活用した事業基盤の強化や拡大を積極的に目指していくなかで、各国の会計基準の差異にとらわれることなく企業比較が可能なEBITDAを経営指標として採用しております。

セグメントごとの経営成績を示すと、次のとおりであります。

① ITサービス事業

ITサービス事業につきましては、データサービス事業を行う株式会社エアネットが安定した収益を獲得しておりますが、オンライン電子出版に特化したアフィリエイトプラットフォーム事業を行う株式会社ファーストペンギンの決済代行収益並びにアフィリエイト広告収益の減少に伴い売上高の減少及び営業損失を計上しております。

以上の結果、売上高は1,335百万円(前年同期比16.7%減少)、営業損失は70百万円(前年同期は営業利益22百万円)となりました。

② コンテンツ事業

コンテンツ事業につきましては、スマートフォン・タブレット向けゲームの開発、配信及び運営並びにキャラクターグッズの販売等を行っております。イベント関連の売上が増加したものの既存コンテンツの売上が減少し、新規コンテンツに係る開発費が増加したことにより売上高の減少及び営業損失を計上しております。

以上の結果、売上高は7,305百万円(前年同期比2.9%減少)、営業損失は586百万円(前年同期は営業損失81百万円)となりました。

③ アセットマネジメント事業

アセットマネジメント事業につきましては、不動産の賃貸及び売買並びに国内外の企業等への投資等を行っております。販売用投資不動産の竣工の遅れ等により売上高は減少しておりますが、売上原価の減少及び当社グループ内シナジーの効果により営業利益は増加しております。

以上の結果、売上高は6,300百万円(前年同期比17.0%減少)、営業利益は355百万円(前年同期比13.9%増加)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当社グループの当第3四半期連結会計期間の末日における財政状態は、下記のとおりであります。

①資産の部

(流動資産)

流動資産につきましては14,957百万円(前連結会計年度末は18,997百万円)と4,040百万円の減少となりました。主な要因は、売掛金及び契約資産が1,461百万円(前連結会計年度末は2,342百万円)と880百万円減少、商品が3,070百万円(前連結会計年度末は5,264百万円)と2,194百万円減少したこと等によるものであります。

(固定資産)

固定資産につきましては4,716百万円(前連結会計年度末は2,147百万円)と2,568百万円の増加となりました。主な要因は、有形固定資産が2,962百万円(前連結会計年度末は287百万円)と2,675百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、総資産は19,673百万円(前連結会計年度末は21,145百万円)と1,472百万円の減少となりました。

②負債の部

(流動負債)

流動負債につきましては5,996百万円(前連結会計年度末は7,545百万円)と1,548百万円の減少となりました。主な要因は、短期借入金が1,057百万円(前連結会計年度末は1,795百万円)と737百万円減少、1年内返済予定の長期借入金が1,486百万円(前連結会計年度末は1,773百万円)と286百万円減少、預り金が1,507百万円(前連結会計年度末は1,566百万円)と58百万円減少したこと等によるものであります。

(固定負債)

固定負債につきましては4,603百万円(前連結会計年度末は3,918百万円)と685百万円の増加となりました。主な要因は、長期借入金が3,978百万円(前連結会計年度末は3,255百万円)と723百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は10,600百万円(前連結会計年度末は11,463百万円)と862百万円の減少となりました。

③純資産の部

純資産合計につきましては9,072百万円(前連結会計年度末は9,682百万円)と609百万円の減少となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純損失による利益剰余金の減少363百万円、剰余金の配当による資本剰余金の減少111百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2024年2月14日に公表いたしました通期の連結業績予想を、本日(2024年11月14日)修正いたしました。詳細につきましては本日公表した「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,764	9,101
売掛金及び契約資産	2,342	1,461
商品	5,264	3,070
仕掛品	1	37
前払費用	552	533
預け金	81	62
未収還付法人税等	361	2
その他	1,649	707
貸倒引当金	△19	△19
流動資産合計	18,997	14,957
固定資産		
有形固定資産	287	2,962
無形固定資産		
のれん	162	65
ソフトウェア	172	162
その他	23	9
無形固定資産合計	358	237
投資その他の資産		
投資有価証券	866	913
関係会社株式	1	1
長期貸付金	7	7
長期滞留債権	527	525
差入保証金	289	319
繰延税金資産	98	101
その他	202	137
貸倒引当金	△491	△488
投資その他の資産合計	1,502	1,515
固定資産合計	2,147	4,716
資産合計	21,145	19,673

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	724	514
短期借入金	1,795	1,057
1年内償還予定の社債	40	50
1年内返済予定の長期借入金	1,773	1,486
未払金	341	237
未払費用	116	133
未払法人税等	126	62
賞与引当金	79	159
役員賞与引当金	24	20
預り金	1,566	1,507
その他	958	768
流動負債合計	7,545	5,996
固定負債		
社債	150	155
長期借入金	3,255	3,978
繰延税金負債	198	190
役員賞与引当金	20	-
役員退職慰労引当金	20	13
退職給付に係る負債	34	33
資産除去債務	87	87
その他	152	144
固定負債合計	3,918	4,603
負債合計	11,463	10,600
純資産の部		
株主資本		
資本金	100	100
資本剰余金	9,580	9,418
利益剰余金	762	398
自己株式	△1,102	△1,198
株主資本合計	9,340	8,718
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	166	166
為替換算調整勘定	△8	0
その他の包括利益累計額合計	157	166
新株予約権	28	25
非支配株主持分	155	162
純資産合計	9,682	9,072
負債純資産合計	21,145	19,673

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
売上高	16,671	14,879
売上原価	11,602	10,484
売上総利益	5,068	4,395
販売費及び一般管理費	4,813	4,695
営業利益又は営業損失(△)	254	△300
営業外収益		
受取利息	0	1
受取配当金	13	15
為替差益	76	-
受取給付金	26	1
投資事業組合運用益	196	-
共同製作事業収益金	70	97
その他	30	36
営業外収益合計	414	152
営業外費用		
支払利息	75	98
為替差損	-	8
社債発行費	7	2
支払手数料	14	29
その他	16	8
営業外費用合計	114	148
経常利益又は経常損失(△)	555	△296
特別利益		
固定資産売却益	15	-
新株予約権戻入益	97	3
役員退職慰労引当金戻入額	6	6
受取保険金	16	-
事業譲渡益	10	-
債務免除益	-	23
その他	-	3
特別利益合計	145	37
特別損失		
固定資産除却損	0	1
減損損失	113	-
投資有価証券評価損	-	15
暗号資産評価損	58	-
特別退職金	-	7
特別損失合計	172	24
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	528	△283
法人税、住民税及び事業税	132	75
法人税等調整額	△11	△6
法人税等合計	120	68
四半期純利益又は四半期純損失(△)	407	△352
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△2	11
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	410	△363

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	407	△352
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	105	△0
為替換算調整勘定	△59	8
その他の包括利益合計	46	8
四半期包括利益	454	△343
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	457	△355
非支配株主に係る四半期包括利益	△2	11

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

2024年4月26日開催の取締役会決議に基づき、譲渡制限付株式報酬として2024年5月24日を期日とする自己株式の処分(109,500株)を行い、当第3四半期連結会計期間において自己株式が87百万円減少しております。また、2024年6月13日開催の取締役会決議に基づき、自己株式の取得(708,500株)を行い、当第3四半期連結会計期間において自己株式が183百万円増加しております。これらの結果、当第3四半期連結会計期間末における自己株式は1,198百万円となっております。

(追加情報)

(販売用不動産から固定資産への振替)

保有目的の変更により販売用不動産のうち2,653百万円を有形固定資産に振替えております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	ITサービス	コンテンツ	アセットマネ ージメント	合計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	1,587	7,494	7,589	16,671	—	16,671
外部顧客に対する売上高	1,587	7,494	7,589	16,671	—	16,671
セグメント間の内部売上高又は 振替高	15	29	—	45	△45	—
計	1,602	7,524	7,589	16,716	△45	16,671
セグメント利益又はセグメント 損失(△)	22	△81	312	252	1	254

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失の「調整額」は、セグメント間取引消去によるものであります。
2. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの資産に関する事項

該当事項はありません。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

コンテンツ事業において、当初の事業計画に対する進捗状況等を考慮した結果、当第3四半期連結累計期間においてソフトウェアを減損損失として計上しております。計上額は、113百万円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	I Tサービス	コンテンツ	アセットマネ ージメント	合計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	1,303	7,275	6,300	14,879	—	14,879
外部顧客に対する売上高	1,303	7,275	6,300	14,879	—	14,879
セグメント間の内部売上高又は 振替高	31	29	—	61	△61	—
計	1,335	7,305	6,300	14,941	△61	14,879
セグメント利益又はセグメント 損失(△)	△70	△586	355	△301	1	△300

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失の「調整額」は、セグメント間取引消去によるものであります。
2. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの資産に関する事項
該当事項はありません。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
(固定資産に係る重要な減損損失)
該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)
該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)
該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、当第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
減価償却費	123百万円	119百万円
のれんの償却額	97百万円	97百万円